

# 大使館情報

2020年4月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（3月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（3月の出来事）

#### 【内政】

- (1) 大統領動静
- (2) 新型コロナウイルス対策
- (3) ボルソナーロ政権支持デモの発生
- (4) ボルソナーロ大統領の演説動画

#### 【外交】

- (1) ボルソナーロ大統領ウルグアイ新大統領就任式への列席
- (2) アウグスト・アンゴラ外務大臣の訪問
- (3) ボルソナーロ大統領の訪米
- (4) PROSUL 首脳テレビ会議
- (5) 諸外国からの入国制限措置
- (6) 伯中首脳電話会談
- (7) ボルソナーロ大統領の G20 首脳テレビ会議出席

### 3. トピックス

- (1) 山田大使のアレッシャンドレ・グスモン農村文化協会（ARCAG）主催第5回グァバ祭り出席
- (2) 令和元年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催
- (3) 高木昌弘在クリチバ総領事着任レセプション（在クリチバ総）
- (4) Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム（在クリチバ総）
- (5) 渡邊頼純関西国際大学教授兼慶応大学名誉教授による講演会（在クリチバ総）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢等（3月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、3月30日時点で、GDP成長率予測については、2020年は▲0.48%で先週より1.96%減少、2021年は2.50%で先週と変わらず。インフレ率については、2020年は3.19%で先週3.20%から0.01%減少、2021年は2.94%で先週より0.1%低下。

(イ) 2月の鉱工業生産指数（季節調整済み）は、市場予想を上回り、前月比+0.5%（先月より0.7%減少）、前年比▲0.4%（先月より0.5%増加）を記録した。

(ウ) 1月の小売売上高は、前月比▲1.0%、前年同月比+1.3%と2ヶ月連続のマイナスを記録した。

(エ) 2月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.25%となり、前月比+0.04%と上昇した。12ヶ月累計では4.01%となり、前月比▲0.18%で下落した。

(オ) 全国の失業率（12月～2月の移動平均）は11.6%となり、11～1月の移動平均値から0.4%上昇した。

(カ) 3月の貿易収支は、47億1300万レアルの黒字となり、前月比52.3%、前年同月比9.7%と増加した。新型コロナウイルスの影響で先行きの落ち込みが懸念される。

(キ) 2月の財政収支は▲209億100万レアル（前年同月比▲20億レアル）となった。本年度の収支目標（▲1189億レアル）は、政府の非常事態宣言（20日）により目標達成が免除された。

### (2) 経済政策等

(ア) 伯中銀は、16日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済への悪影響を軽減するために、560億レアルの流動性対策を発表。また、23日、金融システムの防御のため1兆2,160億レアルを拠出する事を発表した。

(イ) 伯政府は、16日、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響を緩和するため、約1500億レアル（約300億ドル）の景気支援策を発表。企業の雇用維持支援が594億レアル、ウイルス対策費用が45億レアル等。ゲデス経済相は、31日、新型コロナウイルス対策費用が7500億レアルに達していると発表した。

(ウ) 伯政府は、23日、新型コロナウイルスに対抗するための州・市向け協力パッケージを発表。内容は、①保健分野への資金振替、②州の基金（FPE）及び市の基金（FPM）への拠出、③社会的支援、④連邦政府に対する州の債務の停止、⑤（州及び市の債務に関する公的）金融機関との再交渉など総額882億レアル。

(エ) BNDES（経済開発銀行）は、23日、新型コロナウイルスに対応した支援策として、PIS/公務員厚生年金からFGTSへの資金移転、直接融資企業への6ヶ月の元利払い停止など総額550億レアルの措置を発表した。更に、29日、追加の支援策として、保健部門及び零細企業に対する資金420億レアルを発表した。

(オ) 30日、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた低所得者への救済措置として、非正規労働者に対する現金給付（3ヶ月間、月額600レアル）を認める法案が議会で成立した。

### **(3) 中銀の金融政策等**

(ア) 3月17日及び18日に開催された金融政策委員会にて、政策金利を0.5%引き下げ、年率3.75%とすることを決定。政策金利の引き下げは6会合連続。

(イ) 次回会合は5月5日及び6日に開催予定。

### **(4) 為替市場**

3月の為替レートは、4.48～5.26 レアル台で推移。政策金利の引き下げ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済成長の減速懸念を要因として 5.2560 レアルと史上最安値までレアル安が進行した。米FRBと伯中銀の間のドルスワップ協定によって、一時は5.00 レアルを切る場面があったが、先行き不透明感、ドル需要の高まりから、レアル安の展開が継続し、終値は5.2052 レアル/ドル。

### **(5) 株式市場**

3月のブラジルの株式相場（IBOVESPA）は、62,818～108,566 ポイントで推移。新型コロナウイルス感染拡大に伴う、リスク資産からの資金逃避が鮮明となり、ボベスパ指数は一時 61,690 ポイントまで下落。各国中銀の流動性供給の発表により下落は止まったものの、依然として先行き不透明感が相場を引き下げて、終値は 73,086 ポイント。

## 2. ブラジル政治情勢

### 【内政】

#### (1) 大統領動静

(ア) ボルソナロー大統領の訪米に同行したヴァンガルテン大統領府広報局長が新型コロナウイルスに感染したことを受け、12日、同大統領は、同検査を受診したところ、陰性反応が出た旨ツイッター上で公表した。

(イ) 17日、ボルソナロー大統領は、マンデッタ保健大臣の勧告を受け、新型コロナウイルス感染の再検査を受けたところ、再び陰性反応が出た旨ツイッター上で公表。

#### (2) 新型コロナウイルス対策

(ア) 新型コロナウイルスに対する経済対策

16日、ゲデス経済大臣は、新型コロナウイルス感染拡大に対する経済対策として、1,473億を拠出することを発表した。同施策は、主に、低所得者層及び高齢者の支援(834億リアル)、伯国民の雇用維持(594億リアル)及び統合医療システム(45億リアル)から成る。

(イ) 非常事態宣言の発令

18日、ボルソナロー大統領及び関係閣僚が会見を開き、「非常事態宣言(Decreto de Estado de Calamidade Pública)」につき説明した。20日、「非常事態宣言の承認」に関する法律が上院初のリモート投票により全会一致で可決され、成立した。同法律は、新型コロナウイルス感染拡大対策の支出を認めるものであり、その目的の下において、基礎的財政収支の赤字が目標額を超過しても財政責任法に抵触しないことを可能とする。

(ウ) 共同体感染状態の宣言

23日、伯政府は、伯全土が共同体感染状態(Estado de Transmissão Comunitária)であることを宣言する保健省令第454号を公布した。

(エ) 保健大臣による社会的距離確保の要請

28日、マンデッタ保健大臣は、記者会見を通じ、国民に対して社会的距離確保の実施を要請した(注:4月16日、同保健大臣は解任された)。

(オ) 国家治安部隊の動員

30日、法務・治安省は、新型コロナウイルス感染症対策のために国家治安部隊(FNSP)を動員する旨の省令第151号を発出した。

#### (3) ボルソナロー政権支持デモの発生

(ア) 15日、全国各地でボルソナロー政権支持デモが発生した。ボルソナロー大統領は、大統領府前に集まったデモ参加者に挨拶を交わした。

(イ) 28日、全伯各地において、ボルソナロー政権支持者により、社会的隔離の収束及び小売業の解禁を求める車道デモが実施された。翌29日、ボルソナロー大統領は、連邦直轄区(DF)衛星都市及びブラジリアの官庁街を視察訪問し、社会的隔離の収束を主張した。

#### (4) ボルソナロー大統領の演説動画

(ア) 24日、ボルソナーロ大統領は、ラジオ及びテレビを通じ、新型コロナウイルス感染症対策に関する3度目の演説を行い、教育機関の閉鎖措置、各州知事及び各市長による対応（交通遮断や商店の閉鎖措置等）ならびにマスメディアを批判した。

(イ) 31日、新型コロナウイルス感染症対策に関する4度目の声明を公表し、今般のパンデミックによって生命が失われること、失業、暴力及び飢餓によって生命が脅かされることに対する懸念を表明した。また、同大統領は、同声明を通じ、主に伯人の雇用及び所得を守るために可能な全ての措置を採用するようゲデス経済大臣に命じた旨述べた。

## **【外交】**

### **(1) ボルソナーロ大統領のウルグアイ新大統領就任式への列席**

1日、ボルソナーロ大統領は、ラカジェ・ポウ・ウルグアイ新大統領の就任式に列席した。

### **(2) アウグスト・アンゴラ外務大臣の訪問**

3日、ボルソナーロ大統領は、訪伯中のアウグスト・アンゴラ外相と会談を行った。

### **(3) ボルソナーロ大統領の訪米**

7～11日、ボルソナーロ大統領は、マイアミ及びジャクソンヴィルを訪問した。

(ア) 7日、同大統領は、トランプ米大統領別荘「マール・ア・ラゴ」において、同米大統領主催ワーキングディナーに出席。伯米首脳会談後の共同声明では、両国首脳は、伯米間のパートナーシップを深化させる二国間の戦略的同盟について再確認し、経済的繁栄の拡大、民主主義の強化及び平和や治安維持の促進に焦点を当てた旨記載された。

(イ) 8日、ボルソナーロ大統領は、米南方軍基地を訪問し、二国間共同研究開発に関する伯米軍事協定に署名した。

(ウ) 9日、ボルソナーロ大統領は、マイアミにおいて、在米伯人の支持者との会合に出席した。

(エ) 10日、ボルソナーロ大統領は、マイアミで開催された伯米国際会議に出席した。

(オ) 11日、ボルソナーロ大統領は、ジャクソンヴィル所在のEMBRAER社工場を視察した。同日、アラウージョ外相は、ワシントンにおいて、ポンペオ米国务長官と会談し、7日の伯米首脳会談における決定事項に関し、今後の進め方について協議した。

### **(4) PROSUL 首脳テレビ会議**

16日、アラウージョ外務大臣は、PROSUL 首脳テレビ会議にボルソナーロ大統領の代理で出席した。各国首脳は、南米地域における新型コロナウイルス感染症対策の強化について協議した。

### **(5) 諸外国からの入国制限措置**

(ア) 18日、伯政府は、同日付でロライマ州におけるベネズエラとの国境を部分的に封鎖する旨の政令第120号を公布した。

(イ) 19日、伯政府は、南米諸国からの外国人（日本人を含む）の陸路入国を15日間禁止する政令第125号を公布した。入国制限の対象国は、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、仏領ギアナ、ガイアナ、パラグアイ、ペルー及びスリナムの8か国・地域。

(ウ) 19日、伯政府は、日本を含む36か国からの外国人による空路入国を23日以降30日間禁止する政令第126号を公布した。23日、本措置を修正する政令第133号が公布された(主要な改正内容は、制限国にイランが追加された点、空港国際トランジットを認める点、及び一定の条件下での陸続きの他国国境にいる外国人が、居住帰還目的の搭乗のための伯への国境越えを可能とする点)。

(エ) 22日、伯政府は、同日付でウルグアイからの陸路入国を部分的に30日間封鎖する旨の政令第132号を公布した。

(オ) 26日、伯政府は、水運による伯領土内の港及びその他の地点における外国人の上陸を、国籍を問わず、30日間禁止する政令第47号を公布した。

(カ) 27日、伯政府は、空路での国際便トランジット中の外国人は、トランジット後の行き先国、又は当該外国人の国籍国が、空路、陸路及び水路での当該外国人の入国を拒否する場合、その国籍を問わず、入国が禁止される法務・治安省令149号を公布した。

(キ) 27日、伯政府は、伯への空路入国に関し、国籍に関係なく外国人を、30日以降30日間、一律に入国禁止する政令第152号を公布した。

#### **(6) 伯中首脳電話会談**

24日、ボルソナーロ大統領は、同日、習近平中国国家主席と電話会談を行い、「両国間の友好的関係、Covid-19の対応状況に関する情報交換、及び両国間の通商関係の拡大を再確認した」とSNSに投稿した。

#### **(7) ボルソナーロ大統領のG20首脳テレビ会議出席**

26日、ボルソナーロ大統領は、G20首脳テレビ会議に出席し、抗マラリア剤の成分として知られるヒドロキシクロロキンの新型コロナウイルス感染症治療における有効性につき、伯におけるポジティブな成果を紹介して各国を勇気づけた旨SNSに投稿した。

### 3. トピックス

#### (1) 山田大使のアレクサンドレ・グスモン農村文化（ARCAG）主催第5回

3月7日（土）、山田大使は、アレクサンドレ・グスモン農村文化協会（ARCAG）主催の第5回グァバ祭りに参加し、来賓挨拶を行った。同祭りには、連邦直轄区（DF）政府及びブラジル当局の政府関係者及び議員も来賓として出席し、大勢の来場者と共に、今が旬のグァバを味わった。なお、今後の同祭り開催予定日は、以下のサイトを確認頂きたい。

○アレクシャドレ・グスモン農村文化協会（ARCAG）Facebook

<https://www.facebook.com/ARCAGkaikanBSB/>



#### (2) 令和元年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催

3月11日、在ブラジル日本国大使公邸にて令和初の日皇誕生日祝賀レセプションが開催され、ブラジル政府、連邦議会、日系社会、民間企業、教育・文化・スポーツ関係、外交団等、513名の出席者を得て、天皇誕生日を祝賀するとともに、交流が盛況に行われた。

山田大使は、開会式における挨拶において、まずは冒頭にて、発生からちょうど9年となる2011年の東日本大震災に触れ被害者の方々に対して哀悼の意を捧げるとともに、現在世界的な流行を見せる新型コロナウイルスへの日本における対策の現状に言及しながら今年の東京オリンピック開催と成功を期待する旨述べた。その後、活発な要人往来を背景に、ブラジル・日本の二国間関係の更なる強化に向け邁進するとともに、日系社会との連携強化に向けて更に努力していく旨述べた。（山田大使の挨拶については[こちら](#)）。

なお、会場では、和食のプロモーションとして、天ぷら・寿司・豚汁・日本酒等が提供された他、進出企業支援の一環として、ブラジルで活躍する日本企業6社（ヤクルト・NEC・トヨタ・ヤマハ・JRC・EPSON）が自社製品や技術の紹介を行った。



開会式の様子



大使の挨拶

**(3) 高木昌弘在クリチバ総領事着任レセプション (在クリチバ総領事館)**

2020年3月9日、高木昌弘在クリチバ日本国総領事の着任レセプションが公邸にて実施された。レセプションには、ニシモリ連邦下院議員、ペレイラ・パラナ州司法高等裁判所長官、カンポス同州選挙高等裁判所長官、リー・アベ同州議会議員、サレス・パラナ州武官長、セッシ・アサイ市長、ヤマカワ・アマボラン市長、クロダ・ロザリオドイヴァイ市長、タムラ・ロンドリーナ市議会議員、トミナガ同市長、トゥルミナ・パラナ商業協会会長等約200名が出席した。高木総領事は、着任挨拶において南部三州への日本企業の更なる投資を誘致する等、経済、文化を含む様々な分野で日伯関係の更なる強化のため尽力したい旨述べた。



高木総領事着任挨拶



**(4) Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム (在クリチバ総領事館)**

2020年3月5日及び6日、Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム (ブラジル派遣事業) で、在日ブラジル人支援を展開する学生達6名が、クリチバ日伯文化援護協会、クリチバ学生寮 (SENIBRAC)、クリチバ日本語学校 (文教)、純心学園、日本語補習校、クリチバ市教育局を訪問し、日本における更なる支援向上を目的として当地の日系団体や教育機関、元出稼ぎ子弟等との意見交換会を実施した。



クリチバ日伯文化援護協会



日本語補習校

**(5) 渡邊頼純関西国際大学教授兼慶応大学名誉教授による講演会（在クリチバ総領事館）**  
**‘Japan’s Trade Strategy In Japan-Latin America Relationships: Enhancing Japan-Mercosur Economic Partnership’**

2020年3月13日、クリチバ市パラナ日伯商工会議所において、ブラジルを訪問中の渡邊頼純（わたなべ よりずみ）関西国際大学教授兼慶応大学名誉教授による講演会を実施した。

講演会において渡邊教授は、日本の経済連携協定（EPA）について説明し、交渉現場における経験を共有した。

また、同機会を利用し、在クリチバ総領事館は渡邊教授とともに、当地進出日本企業等（ハリマ・ド・ブラジル、NTTデータ、ブラジル住友ゴム、兵庫県ブラジル事務所）との意見交換会を実施した。意見交換では、各社の事業態勢のあり方や戦略的なビジネス計画などについて議論が交わされ、今後の在クリチバ総領事館との連携体制も確認された。



講演会の様子



ハリマ・ド・ブラジル社



ブラジル住友ゴム社



NTTデータ社

## 4. 大使館からのお知らせ

### (1) 文化イベント

4月の予定はなし。

### (2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### (3) ブラジル渡航情報

#### (ア) 危険情報

8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域（ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏）を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・ロライマ州北部（新規）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏（新規）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html)

#### (イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

#### (ウ) テロ・誘拐情勢

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)